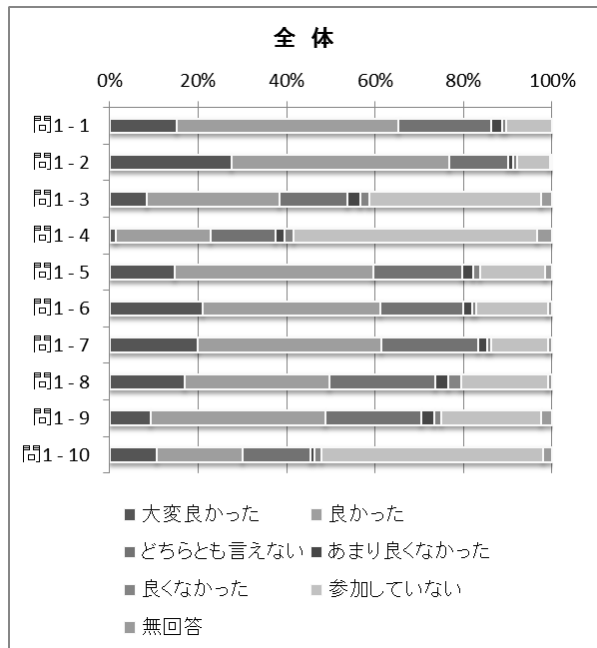
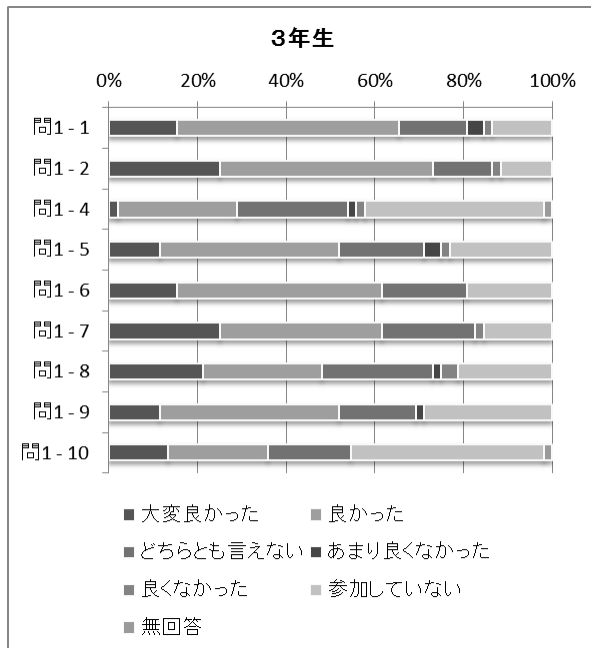
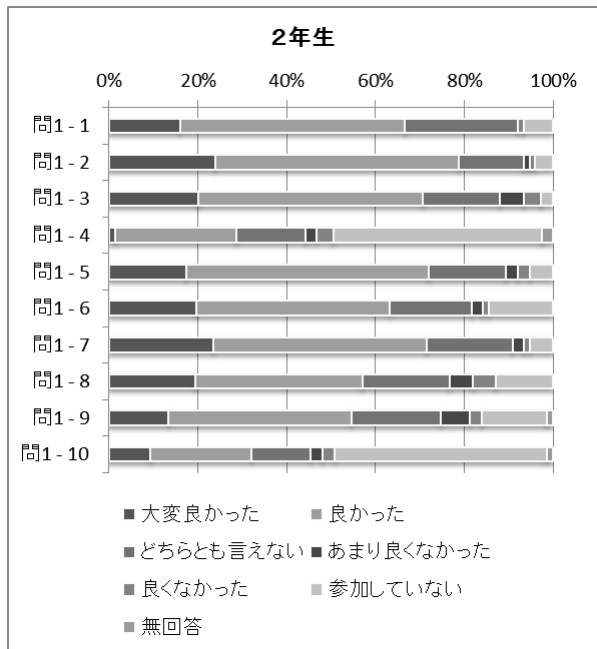
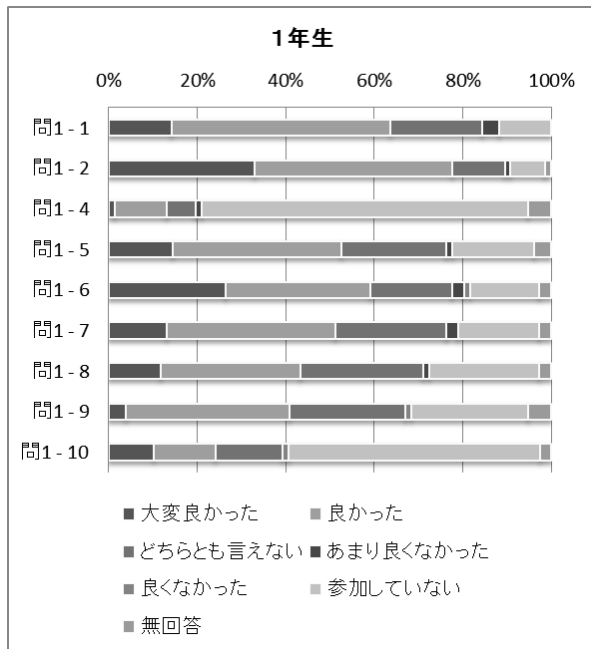


平成27年度 SSHに関する校内調査

A) 生徒意識調査

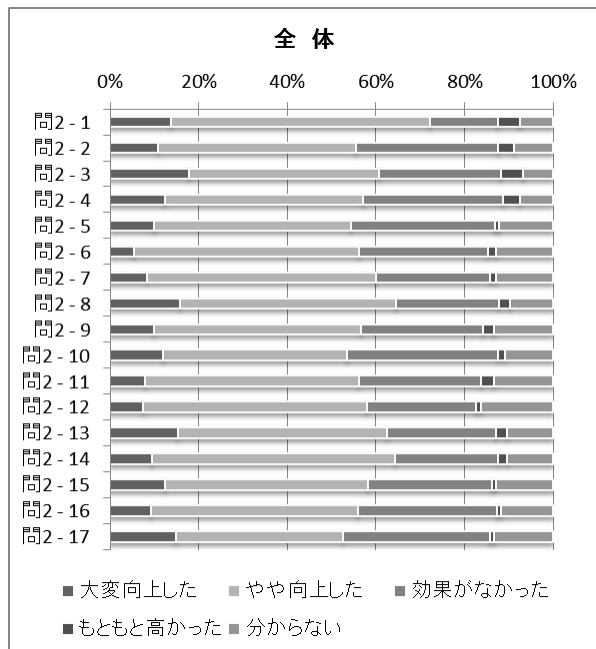
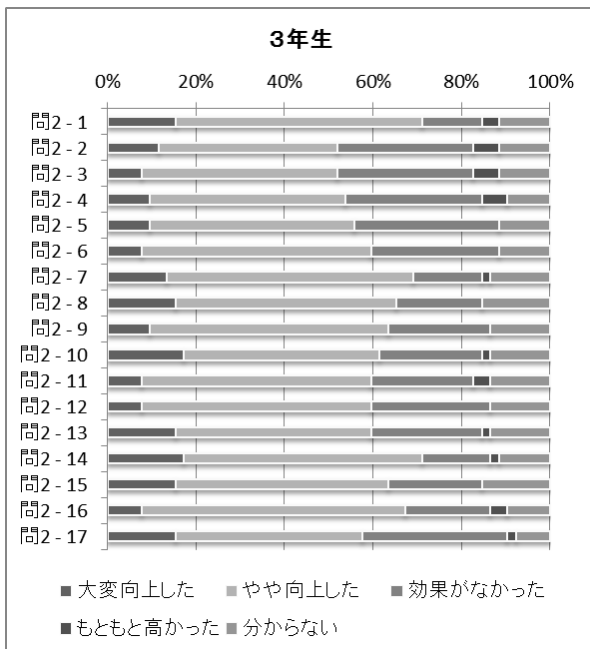
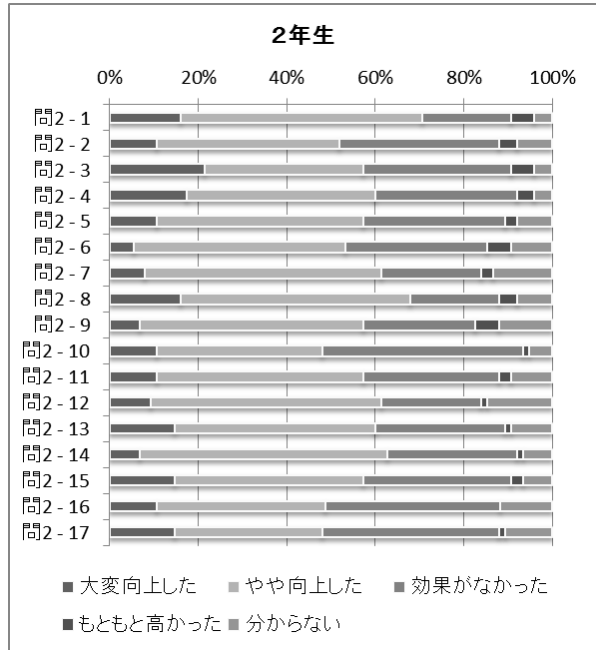
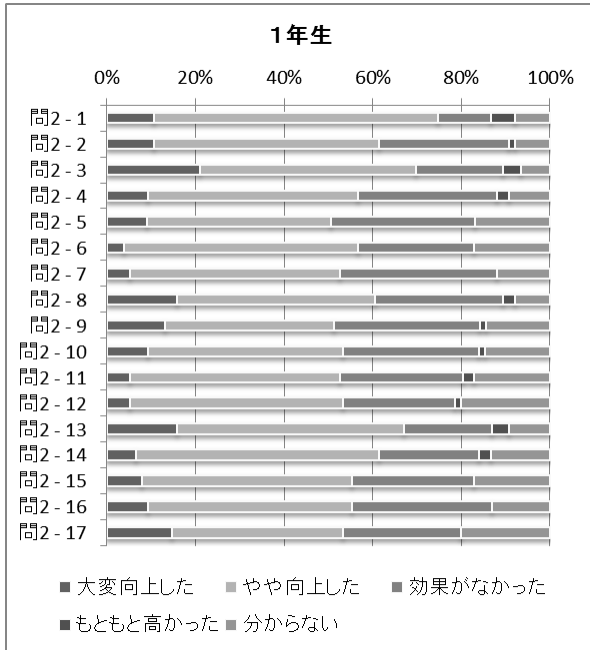
質問項目 1) 以下の取組のうち、参加したプログラムについてのみ答えてください。参加して良かったですか。

- (1) 科学者や技術者の特別講義・講演会（和歌山大学・東京学芸大学・京都大学・名古屋大学・大阪大学・北海道大学・関西光科学研究所・JT生命誌館など）
- (2) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習（京都大学瀬戸臨海実験所・和歌山大学・関西光科学研究所・JT生命誌館・京都大学原子炉実験所など）
- (3) 課題研究（2年生のみ回答）
- (4) 理数系コンテストへの参加
- (5) 観察・実験の実施
- (6) フィールドワーク〈野外活動〉の実施（京都大学瀬戸臨海実験所・課題研究・クラブなど）
- (7) プレゼンテーションする力を高める学習（課題研究・総合学習・フォーラムなど）
- (8) 英語で表現する力を高める学習（フレデリクスハウン合同授業・課題研究・フォーラムなど）
- (9) 他の高校の生徒との発表交流会・発表会（全国および和歌山）
- (10) 科学系クラブ・有志などの課外活動への参加

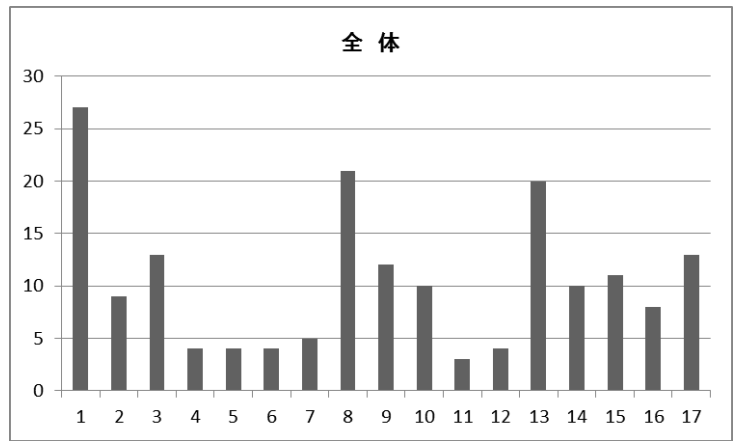


質問項目 2) SSHの取組に参加したことで、学習全般や科学技術などに対する興味、姿勢、能力が向上しましたか。

- (1) 未知の事柄への興味 (好奇心) (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味 (3) 理科実験への興味
 (4) 観測や観察への興味 (5) 学んだ事を応用することへの興味 (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢
 (7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心) (8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ)
 (9) 粘り強く取組む姿勢 (10) 独自なものを創り出そうとする姿勢 (独創性)
 (11) 発見する力 (問題発見力、気づく力) (12) 問題を解決する力
 (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力)
 (15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション)
 (16) 自然や歴史、問題点など、地域に対する関心と理解 (17) 国際性 (英語による表現力、国際感覚)

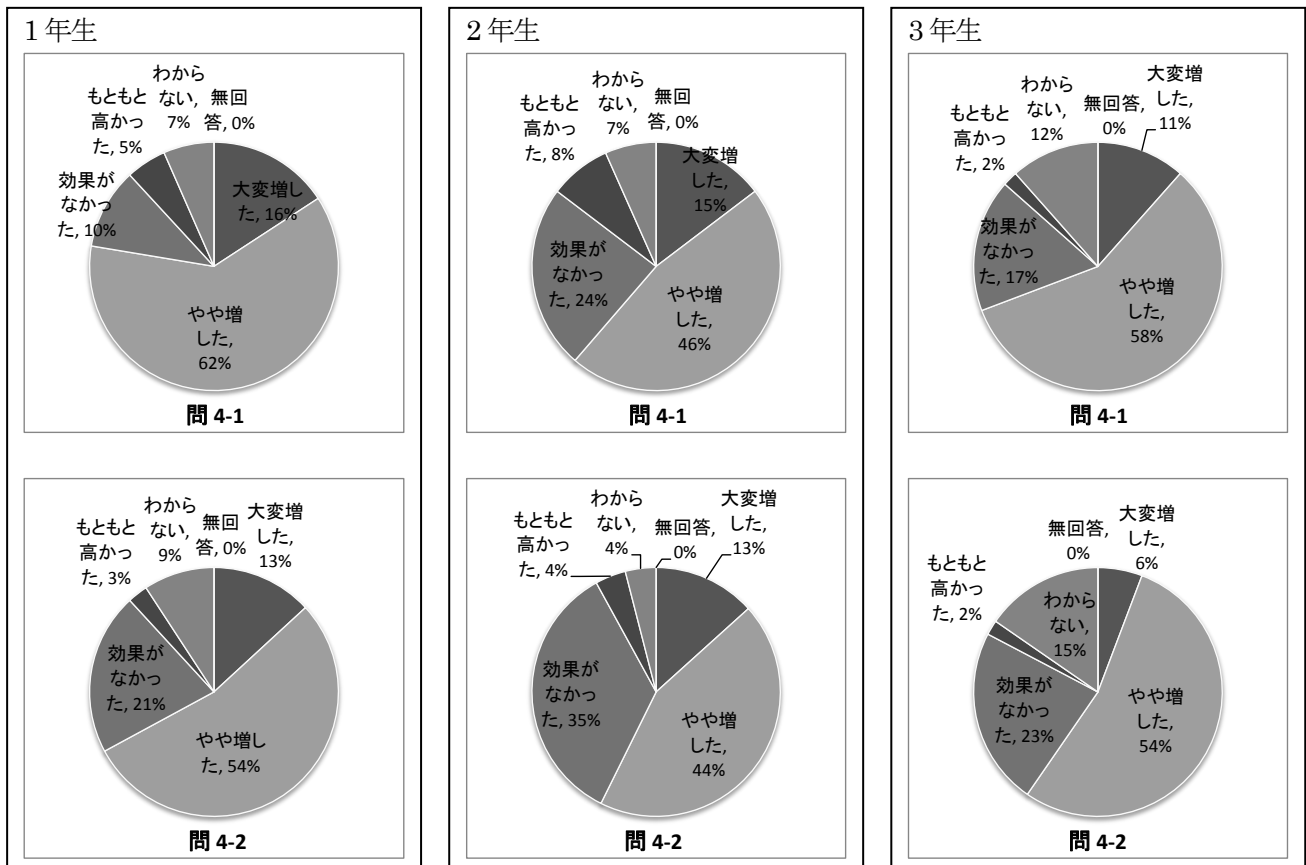


質問項目 3) 項目2の(1)～(17)のうちSSHの取組により特に向上したと思う興味、姿勢、能力は何ですか。



質問項目 4) SSHの取組に参加したことで、次の設問にお答えください。

- (1) 科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)
- (2) 科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか。(回答は1つだけ)

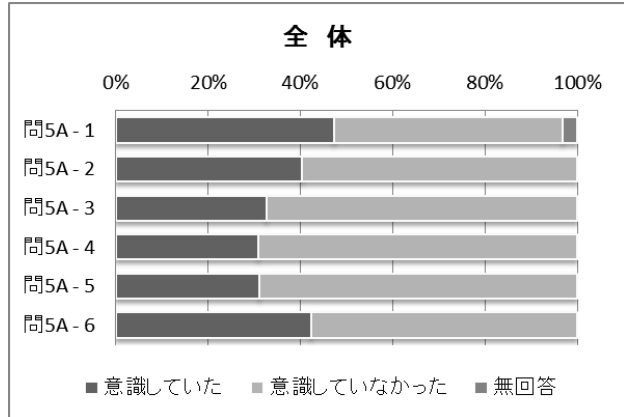
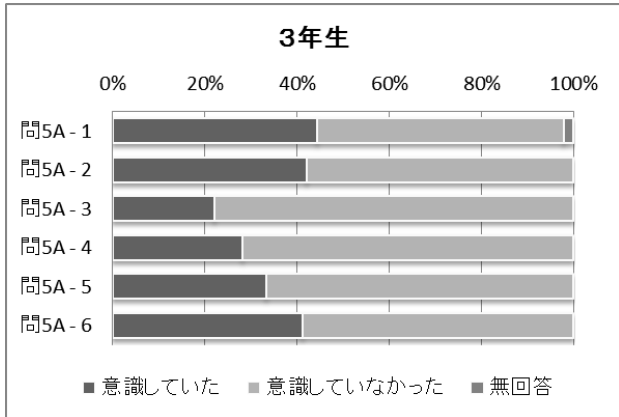
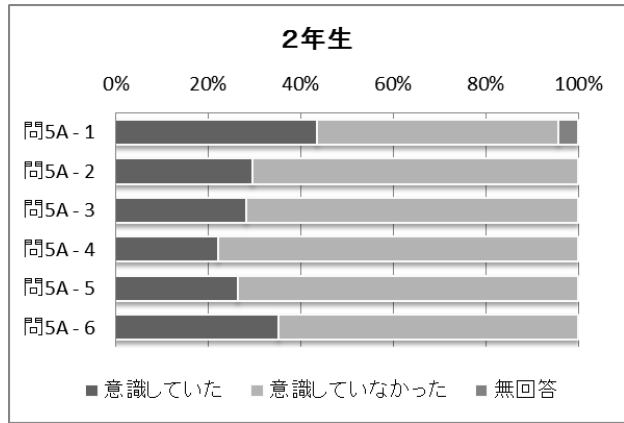
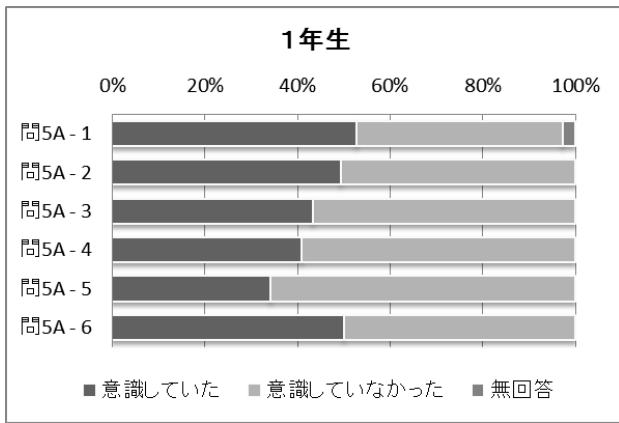


(1. 大変増した 2. やや増した 3. 効果がなかった 4. もともと高かった 5. わからない)

質問項目 5) 以下A、B の設問にお答えください。

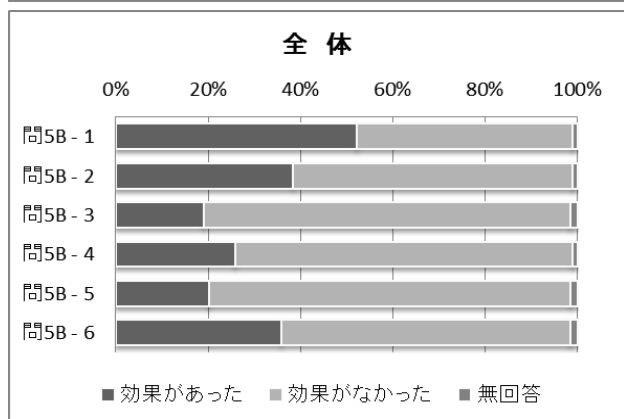
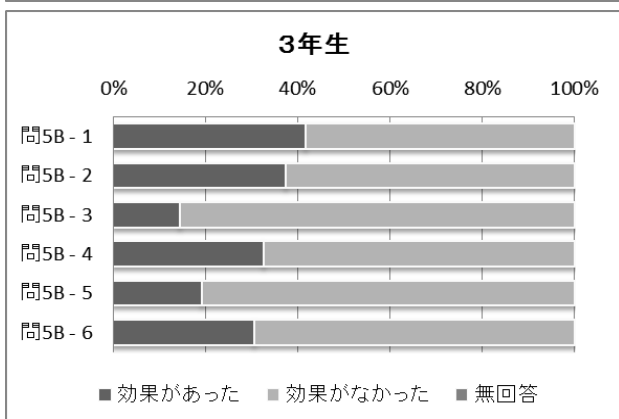
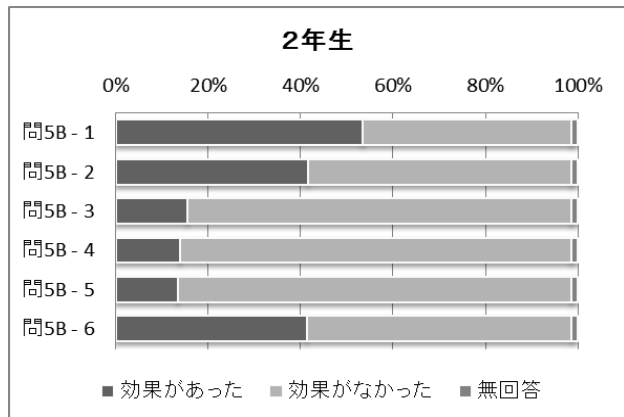
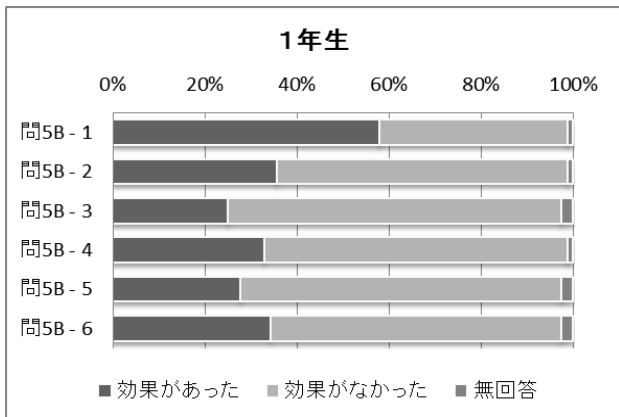
A. SSHの取組への参加にあたって以下のような利点を意識していましたか。

- (1) 科学技術、理科・数学の面白そうな取組に参加できる
- (2) 科学技術、理科・数学に関する能力やセンス向上に役立つ
- (3) 理系学部への進学に役立つ
- (4) 大学進学後の志望分野探しに役立つ
- (5) 将来の志望職種探しに役立つ
- (6) 国際性の向上に役立つ



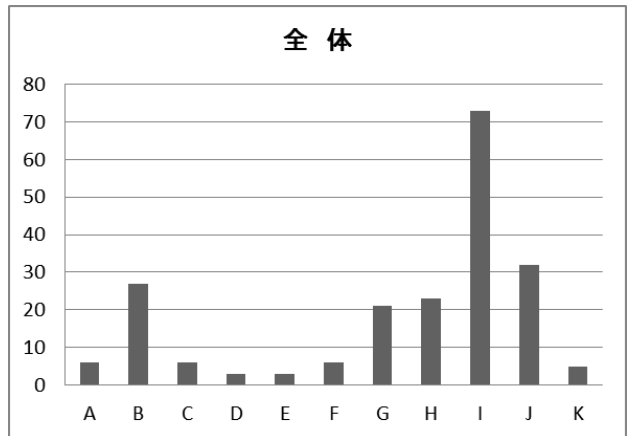
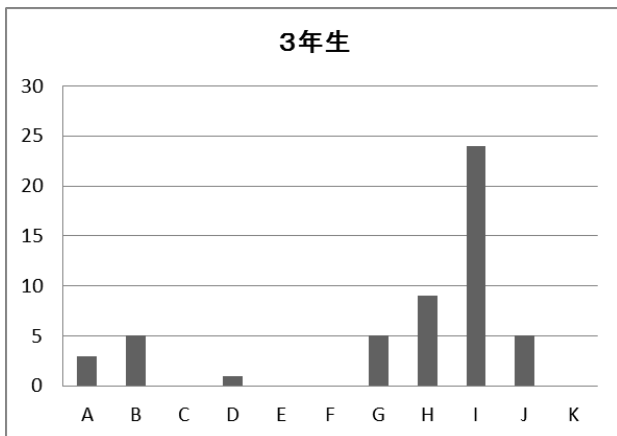
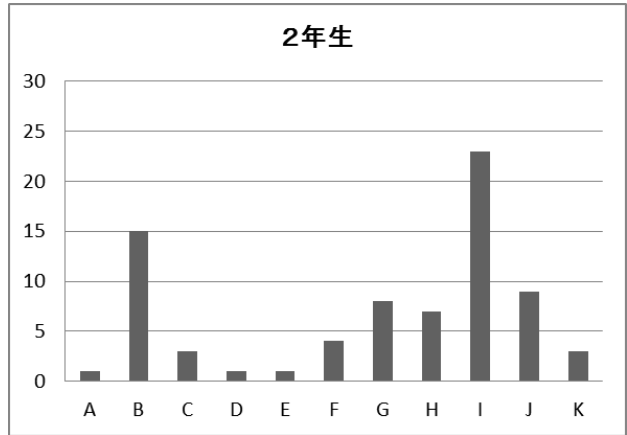
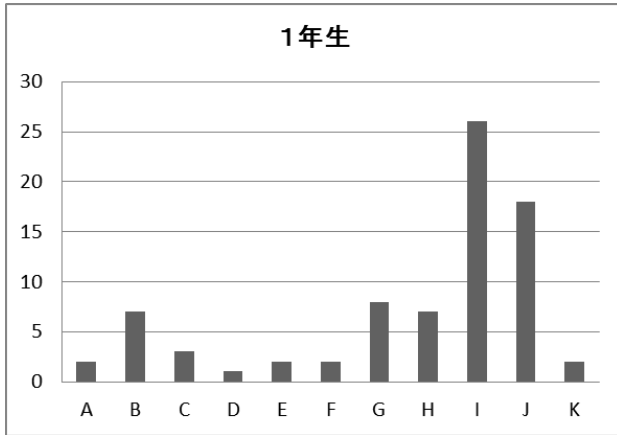
B. SSHの取組への参加によって以下のような効果はありましたか。

- (1) 科学技術、理科・数学の面白そうな取組に参加できた
- (2) 科学技術、理科・数学に関する能力やセンス向上に役立った
- (3) 理系学部への進学に役立った
- (4) 大学進学後の志望分野探しに役立った
- (5) 将来の志望職種探しに役立った
- (6) 国際性の向上に役立った



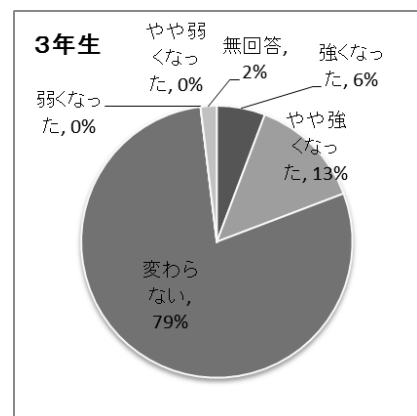
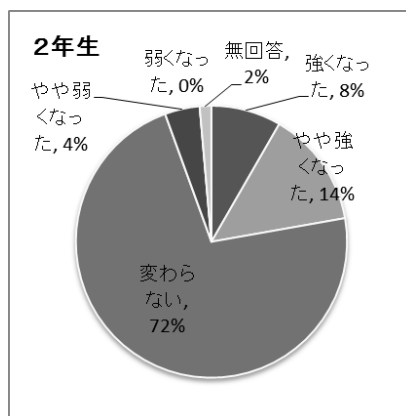
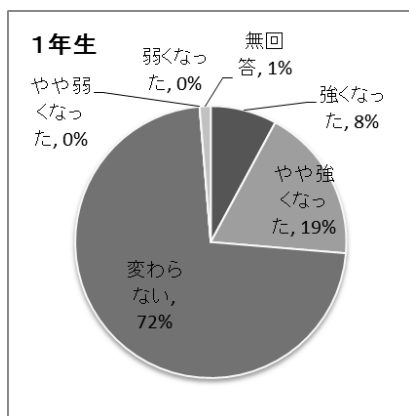
質問項目 6) 将来、どのような職業に就きたいと考えていますか。

- A 大学・公的研究機関の研究者 B 企業の研究者・技術者 C 技術系の公務員
 D 中学校・高等学校の理数系の教員 E 医師・歯科医師 F 薬剤師 G 看護師
 H その他理系の職業 I 文系の職業 J わからない K 無回答



質問項目 7) SSHの取組への参加によって、項目6の職業を希望する度合いは強くなったと思いますか。(回答は1つだけ)

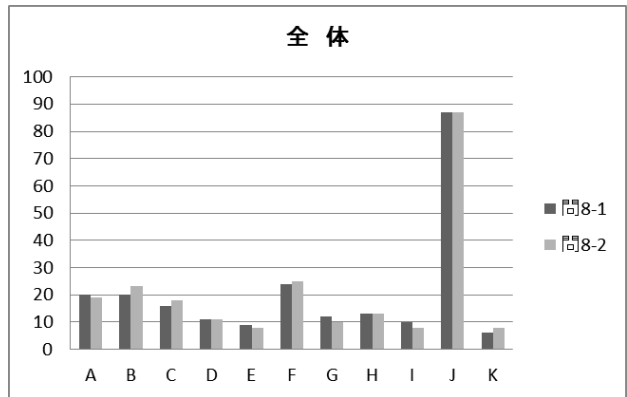
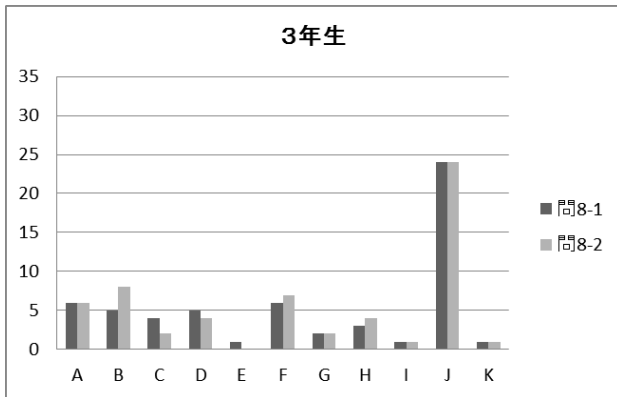
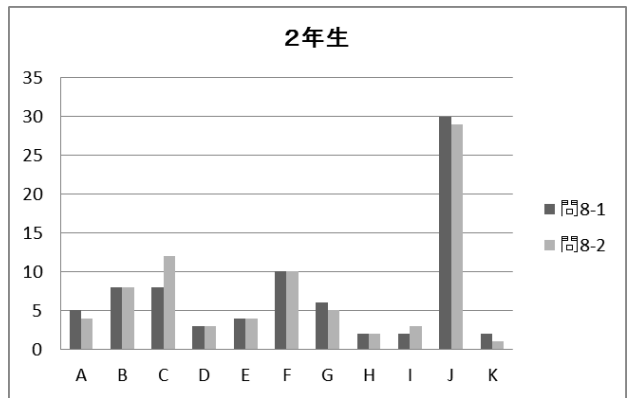
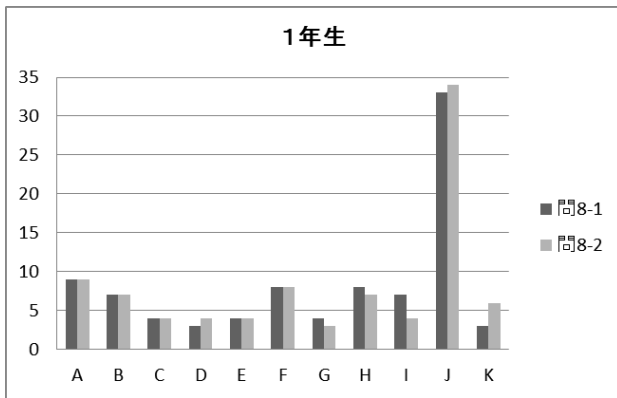
- (1. 強くなった 2. やや強くなった 3. 変わらない 4. やや弱くなった 5. 弱くなった)



質問項目 8) 大学進学する場合、専攻したい分野について教えてください。

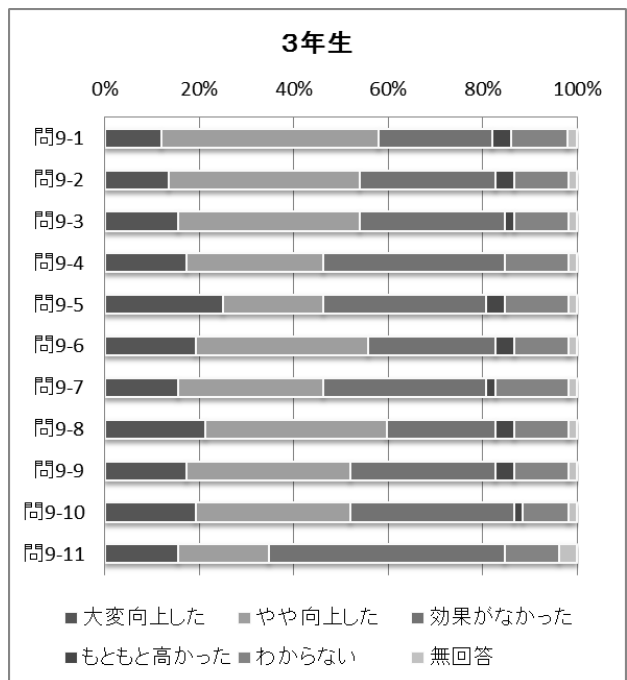
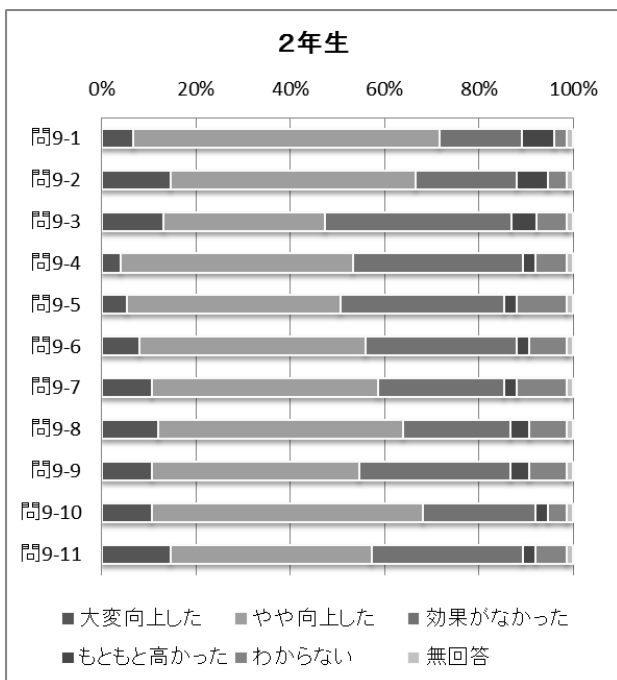
- (1) SSHの取組に参加する前に、大学で専攻したいと考えていた分野はどれですか。(回答は2つまで)
 (2) SSHの取組に参加したあと、大学で専攻したいと考えている分野はどれですか。(回答は2つまで)

- A 理学系 B 工学系(情報工学) C 工学系(情報工学以外) D 医学・歯学系
 E 薬学系 F 看護系 G 農学系 H 生活科学・家政学系
 I 教育学系(理数系) J 文系 K 無回答



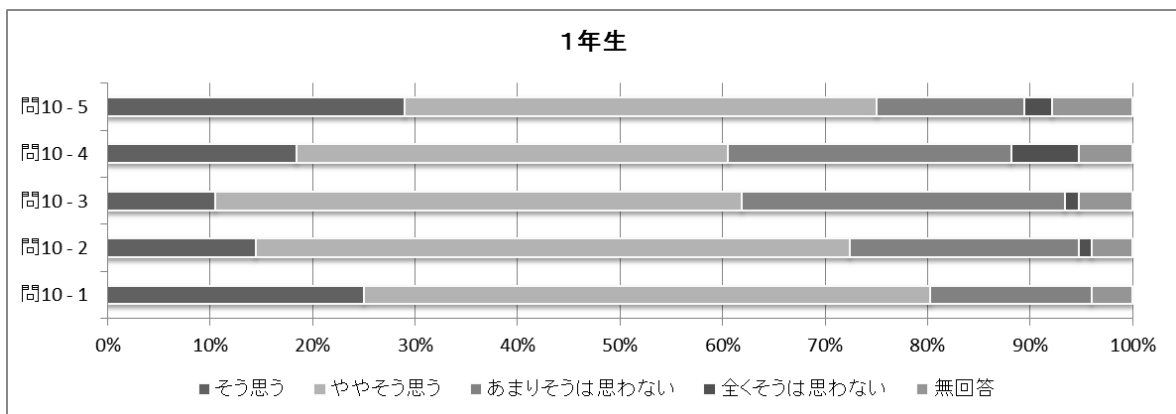
質問項目 9) (2・3年生のみ回答) 課題研究について、次の項目は向上しましたか。

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| (1) 未知の事柄や科学技術、理科・数学の理論・原理への興味 (好奇心) | (3) 地域の自然や歴史、社会などへの興味・関心と理解 |
| (2) 理科実験や自然観察・観測などへの興味 | (5) 独自のものを創り出そうとする姿勢 (独創性) |
| (4) 学んだ事を応用することへの興味 | (7) 問題を解決する力 |
| (6) 発見する力 (問題発見力、気づく力) | (9) 考える力 (洞察力、発想力、論理力) |
| (8) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) | |
| (10) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション) | |
| (11) 国際性 (英語による表現力、国際感覚) | |



質問項目 10) (1年生のみ回答) 白浜の京都大学瀬戸臨海実験所 水族館実習について

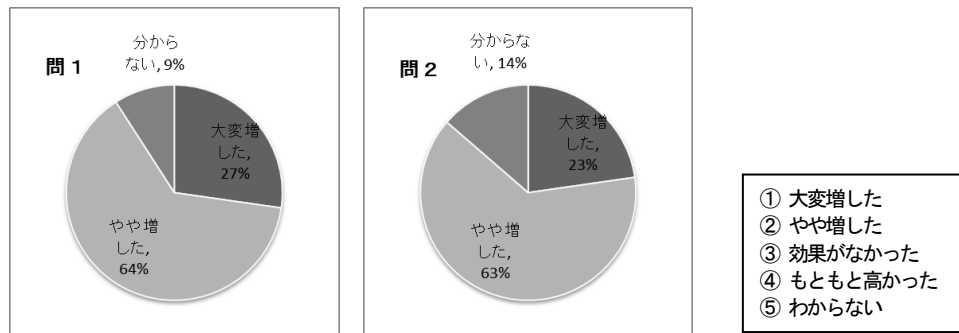
- (1) 研修や講義内容を理解できた。
- (2) 研修や講義内容を通して、科学に対する興味・関心が高まった。
- (3) 研修や講義内容を通して、科学的に探究する意欲が高まった。
- (4) 研修や講義内容を通して、学問・研究・職業などの点で視野が広がった。
- (5) 研修や講義内容を有意義に感じた。



B) 教員意識調査

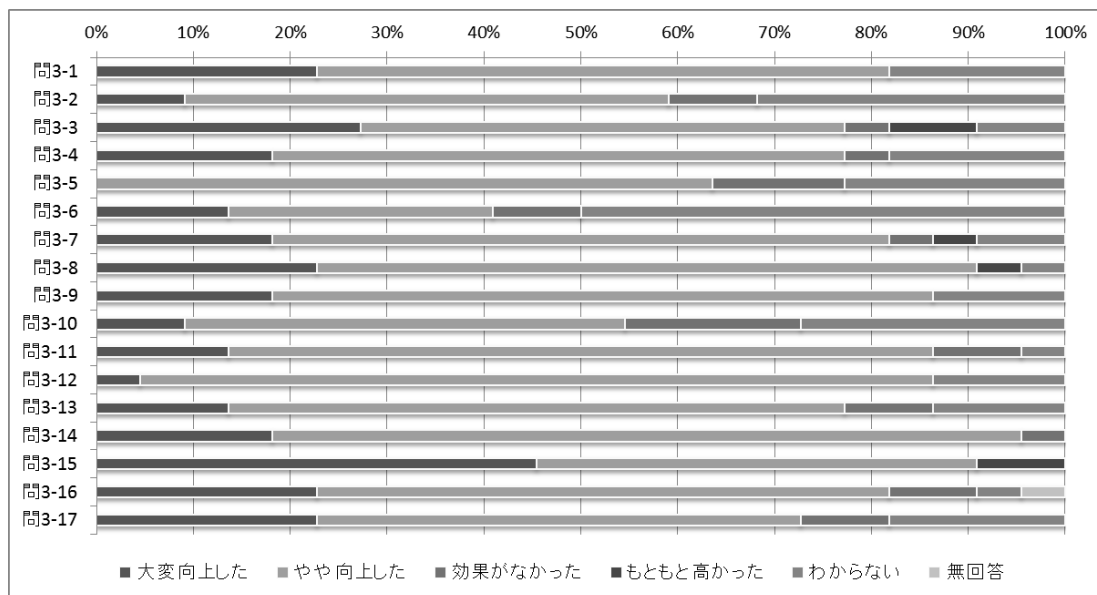
質問項目 1) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に対する興味・関心・意欲は増したと思いますか。

質問項目 2) SSHの取組に参加したことで、生徒の科学技術に関する学習に対する意欲は増したと思いますか。



質問項目 3) SSHの取組に参加したことで、生徒の学習全般や科学技術、理科・数学に対する興味、姿勢、能力が向上したと感じますか。 (1)～(17)のそれぞれについて、選択肢の中から1つずつ選んでマーク

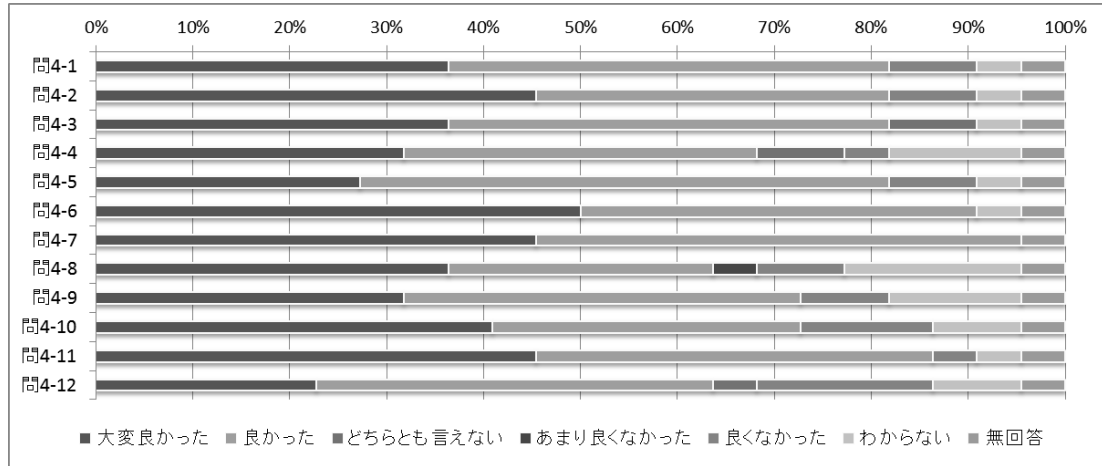
- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| (1) 未知の事柄への興味 (好奇心) | (2) 科学技術、理科・数学の理論・原理への興味 |
| (3) 理科実験への興味 | (4) 観測や観察への興味 |
| (5) 学んだ事を応用することへの興味 | (6) 社会で科学技術を正しく用いる姿勢 |
| (7) 自分から取組む姿勢 (自主性、やる気、挑戦心) | (8) 周囲と協力して取組む姿勢 (協調性、リーダーシップ) |
| (9) 粘り強く取組む姿勢 | (10) 独自のものを創り出そうとする姿勢 (独創性) |
| (11) 発見する力 (問題発見力、気づく力) | (12) 問題を解決する力 |
| (13) 真実を探って明らかにしたい気持ち (探究心) | (14) 考える力 (洞察力、発想力、論理力) |
| (15) 成果を発表し伝える力 (レポート作成、プレゼンテーション) | |
| (16) 自然や歴史、問題点など、地域に対する関心と理解 | (17) 国際性 (英語による表現力、国際感覚) |



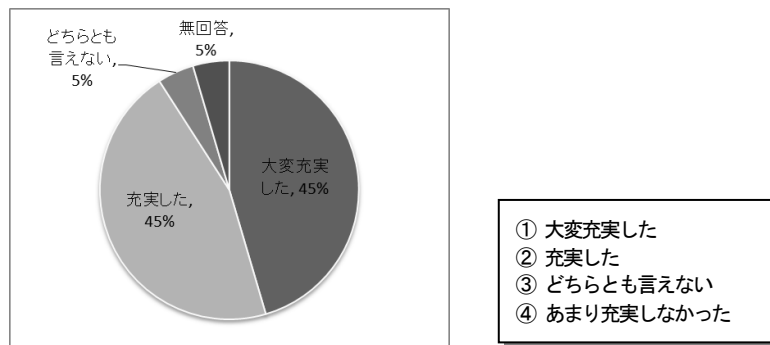
質問項目 4) 次の取組は、生徒に効果があったと思いますか。

- | | | | | |
|---|---|----------|------------------|--------------|
| (1) 科学者や技術者の特別講義・講演会 (和歌山大学・東京学芸大学・京都大学・名古屋大学・大阪大学・北海道大学・関西光科学研究所・JT生命誌館など) | (2) 大学や研究所、企業、科学館等の見学・体験学習 (京都大学瀬戸臨海実験所・和歌山大学・関西光科学研究所・JT生命誌館・京都大学原子炉実験所など) | (3) 課題研究 | (4) 理数系コンテストへの参加 | (5) 観察・実験の実施 |
|---|---|----------|------------------|--------------|

- (6) フィールドワーク(野外活動)の実施(京都大学瀬戸臨海実験所・課題研究・クラブなど)
- (7) プレゼンテーションする力を高める学習(課題研究・総合学習・フォーラムなど)
- (8) 英語で表現する力を高める学習(フレデリクスハウen高校合同授業・課題研究・フォーラムなど)
- (9) 他の高校の生徒との発表交流会・発表会(全国・和歌山)
- (10) 種子島・屋久島研修の実施
- (11) 科学系クラブ・有志などの課題研究への参加
- (12) さくらサイエンスプランの実施



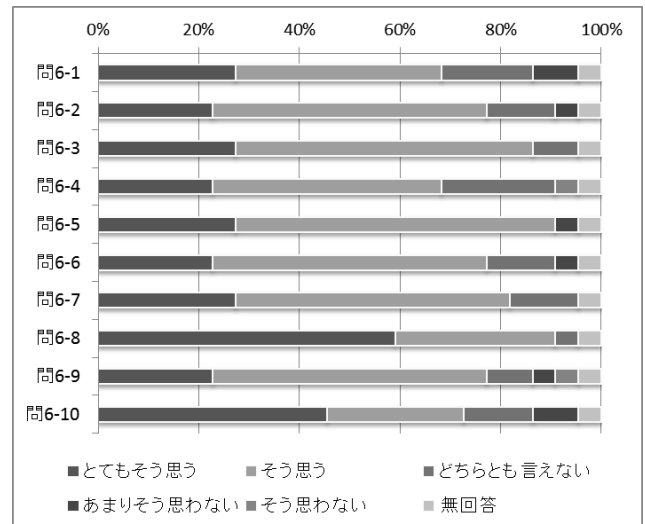
質問項目 5) SSHの取組に参加したことで、学校の科学技術、理科・数学に関する先進的な取組が充実したと思いますか。



質問項目 6) SSHの取組を行うことは、下記のそれぞれの項目において影響を与えますか。

(1)~(10)のそれぞれについて、選択肢の中から1つずつ選んでマーク

- (1) 生徒の理系学部への進学意欲に良い影響を与える
- (2) 生徒の学習意欲向上に良い影響を与える
- (3) 生徒の自然科学への興味・関心を高める効果がある
- (4) 新しいカリキュラムや教育方法を開発するうえで役立つ
- (5) 教員の科学技術や自然科学に対する認立向上を促す
- (6) 教員の指導力の向上に役立つ
- (7) 教員間の協力関係の構築や新しい取組の実施など、学校運営の改善・強化に役立つ
- (8) 大学など、学校外の機関との連携関係を築き、連携による教育活動を進めるうえで有効だ
- (9) 地域の人々に学校の教育方針や取組を理解してもらううえで良い影響を与える
- (10) 将来の科学技術人材の育成に役立つ



C) 「学校評価」におけるSSHへの評価（全教職員対象）

- (1) SSH事業による、生徒の自然科学や科学技術に対する興味関心向上への寄与
- (2) SSH事業による、生徒の進路意識向上などへの寄与
- (3) SSH事業による、生徒の発信力向上への寄与
- (4) SSH事業による、生徒の国際性の向上への寄与
- (5) 中高の連続性を意識した探究活動の実施
 - ・実験科学（中学3年生は高校教員が担当）
 - ・課題研究Ⅰ（中学卒業研究、理科分野は高校教員がサポート）
 - ・サイエンスフェスタ、課題研究Ⅱ（高校）
- (6) 課題研究・クラブ活動などでの生徒研究の推進
- (7) 生徒研究発表会（全国）・和歌山県生徒研究発表会などでの研究成果の発表
- (8) フレデリクスハウン高校との交流授業（共通テーマについての授業研究と学習活動）の実施
- (9) 京都大学瀬戸臨海実験所（白浜）研修・名田海岸実習など県内の自然を活かした研修の実施
- (10) 特別講義（和歌山大学・京都大学・北海道大学・東京学芸大学・大阪大学・名古屋大学など）の実施
- (11) 校外研修（関西光科学研究所・JT生命誌館・京都大学原子炉実験所・屋久島研修など）の実施
- (12) クラブ活動などの科学活動の活性化（科学部・生物部・SSH有志）
- (13) 各種コンクール（きのくに科学オリンピック・物理生物オリンピックなど）への参加
- (14) 各種大会（缶サット・レゴロボット・学生科学賞など）への参加
- (15) ホームページ・マンスリータイムズなどでの情報発信
- (16) 地域への研究成果の普及
- (17) SSH委員会（教育開発部会）の定例開催など校内体制の確立

